



# 精密農業アジア会議

7月 **5**火 **6**水 **7**木 日

# in おびひろ

**場所** とかちプラザ 帯広市西4条南13丁目

フードバレー十勝の中心帯広市において、第4回精密農業アジア会議を開催することになりました。

精密農業は、高度な情報収集・管理手法を用いて、環境保全と生産性の向上を同時に追求する営農システムです。精密農業アジア会議は、この分野に関心を持つ世界の研究者が、「アジアの自然、社会に適合する精密農業」、「食の安全に貢献できる精密農業」、「食糧危機や環境問題の改善を促す精密農業」などをテーマに研究成果を報告し、今後の方向性を議論することを目的とする国際会議です。

これまでに、日本（豊橋、2005）、韓国（2007）、中国（2009）において開催され、そのたびに参加人数を増やしてきました。今回の会議では、精密農業だけではなく、新たな潮流になりつつある GAP（農業生産工程管理）に関する研究発表も多く含まれています。また、精密農業や ICT（情報通信技術）の導入により地域農業の活性化を図ろうとしている個人や企業、団体を交えてシンポジウムや展示会、見学会を催し、交流を深めることを目的としています。

## 大会スケジュール

5日	オープニング※ (9:30~10:00)  基調講演※ (10:00~12:30)  会場：レインボーホール	研究発表会※ (13:30~17:30) 第1会場：2F視聴覚室 第2会場：講習室401 第3会場：講習室402		
		企業展示 (12:30~17:30) 会場：アトリウム		
6日	研究発表会※ (9:15~12:15) 第1会場：2F視聴覚室 第2会場：講習室401 第3会場：講習室402	ポスターセッション (12:15~13:45) 会場：ギャラリー	イベント <国際ワークショップ> (14:00~17:00) 会場：レインボーホール	
		イベント<農産物紹介・試食会> (12:15~13:45) 会場：大集会室		
	企業展示 (9:30~16:30) 会場：アトリウム			
7日	現場見学会※ (9:30~15:00)			

※ については参加費が必要となります。

主催：第4回精密農業アジア会議実行委員会

共催：帯広市

後援：帯広畜産大学、国際農業工学会、国際自動制御連合、日本農学会、日本農業工学会、日本農業気象学会、日本農作業学会、日本生物環境工学会、農業情報学会、農業機械学会、農業農村工学会、農業施設学会、農村計画学会、生態工学会、日本土壌肥料学会、日本作物学会、日本写真測量学会、日本リモートセンシング学会、北海道農業機械工業会、十勝農業機械協議会、ESTeCコンソーシアム

尚、研究発表会と現場見学会への参加は、右記URLより別途申し込みが必要となります。<http://www.ec-pro.co.jp/acpa2011/>

## 国際ワークショップ（6日 共催:日本学術会議）

### I 講演（14:00～15:00）

- 1) Mr. Mark Vanacht (マーク バナハト)  
(国際農業ビジネスコンサルタント、ミズーリ州土壌・水保全学会長)  
“Water and Foods in business perspective”  
「ビジネスの大局からみた水資源と食料の地位」
- 2) Dr. Raj Khosla (ラジ コスラ) (コロラド州立大学教授、国際精密農業学会長)  
“Emerging topics in precision agriculture”  
「精密農業における最新の技術管理動向」
- 3) Dr. Seiich Saito (斎藤誠一) (北海道大学大学院農学研究院教授、日本学術会議会員、日本学術会議農業情報システム学分科会農林水産RS/GISワーキンググループ主査)  
“Hot spots on ocean fishery using RS/GPS techniques”  
「RS/GPS技術を用いた大洋漁業の新展開」
- 4) Ir. Sari Vigrwati (サリ ビグラワチ) (国立ペンナングナム・ベテラン大学ジョグジャカルタ校講師、持続的開発のための人材教育プロジェクトリーダー)  
“Social experiment on community-based precision paddy in Central Java”  
「ジャワ島中部におけるコミュニティベース精密水稻作導入の社会実験」

### II パネル討論（15:00～17:00）

テーマ：“Food-valley with Precision Agriculture”  
「精密農業によるフードバレー構想の展望」

司会進行：Dr. Sakae Shibusawa (澁澤 栄、東京農工大学大学院農学研究院教授)

パネリスト：Mr. Norihisa Yonezawa (米沢則寿、帯広市長)  
Dr. Toshihisa Kanayama (金山紀久、帯広畜産大学副学長)  
Mr. Marc Vanacht (マーク バナハト、前掲)  
Dr. Raj Khosla (ラジ コスラ、前掲)  
Ir. Sari Vigrwati (サリ ビグラワチ、前掲)

## 企業展示（5日・6日）

株式会社岩崎、株式会社トプコン販売、株式会社ニコン・トリンプル、株式会社システムサプライ、株式会社GISupply、株式会社ティンバーテック、ホクトヤンマー株式会社、ジオサーフ株式会社、クリマテック株式会社、株式会社ズコーシャほか

## 農産物紹介・試食会（6日）

安心・安全をテーマとした『こだわりの十勝』の農産物を展示紹介し、あわせて試食会を開催いたします。

お問い合わせ先

株式会社ズコーシャ 総合科学研究所 GIS推進室 TEL:0155-33-4491 [✉ acpa2011@zukosha.co.jp](mailto:acpa2011@zukosha.co.jp)